

資料	4
----	---

令和4年8月2日  
都市整備部地下鉄8号線事業推進課  
土木部交通対策課

令和5年度

## 東京都に対する要望事項について

- 1 地下鉄8号線(豊洲―住吉間)の着実な整備等について(都市整備局)
- 2 鉄軌道駅におけるバリアフリー化及び安全対策の一層の推進について(都市整備局)
- 3 都営バス等交通網の整備、充実について(交通局、都市整備局)

(地下鉄8号線延伸・交通対策推進特別委員会)

## 1 地下鉄 8 号線(豊洲―住吉間)の着実な整備等について

地下鉄 8 号線(豊洲―住吉間)は、国際競争力強化の拠点である臨海副都心と都区部東部等のアクセス利便性を向上させるほか、混雑著しい東京メトロ東西線の混雑緩和等に寄与するなど、首都東京の都市基盤をより堅固なものにするために不可欠な路線であり、現在公表されている計画では、2030 年代半ばを開業目標としている。

以上を踏まえ、次の点について要望する。

- (1) 計画通りに整備が進められるよう工事着手に向けた手続きの円滑な実施や必要な予算措置を行うこと。
- (2) 区が推進する地下鉄 8 号線延伸に合わせた沿線のまちづくりに対して協力すること。

## 2 鉄軌道駅におけるバリアフリー化及び安全対策の一層の推進について

本区では、全ての鉄道駅において、エレベーター等によるバリアフリー経路1ルートの整備が完了している。しかし、1ルートだけでは、目的の出口やホームまで大幅な迂回を余儀なくされる場合があり、高齢者や障害者、ベビーカー利用者等の移動に配慮が必要な乗客にとって、各出入口におけるバリアフリー経路の整備は切実なものとなっている。

また、ホーム上の安全対策となるホームドア設置については、東京地下鉄株式会社において令和7年度までに全路線全駅整備完了予定と公表しているものの、東西線の木場駅と南砂町駅、半蔵門線の清澄白河駅と住吉駅は未だに設置されていない状況である。

以上を踏まえ、次の点について要望する。

- (1)鉄軌道駅における2ルート以上のバリアフリー経路整備が推進されるよう、鉄軌道事業者へ働きかけること。
- (2)東京都市圏の交通政策を担う東京都として、区内各駅の安全対策としてホームドア設置を早期に行うよう、引き続き東京地下鉄株式会社に対し強く働きかけること。

### 3 都営バス等交通網の整備、充実について

都営バスは、日常の区民生活を支える公共交通として、本区において重要な役割を果たしており、とりわけ鉄道交通が不足している南北の移動においては、その中心を担っている。また、来年度、千客万来施設の開業が予定されている豊洲市場への利便性を高めるためにも、今まで以上に区内既成市街地と臨海部を結ぶ路線の充実が都営バスに求められている。

また、東京BRTは、臨海地域の交通需要増に速やかに対応し、地域の発展を支える新しい公共交通機関として位置づけられており、その運行による区民の利便性向上が期待されている。

以上を踏まえ、次の点について要望する。

- (1) 江東高齢者医療センター、昭和大学江東豊洲病院、がん研有明病院など医療施設へのアクセス利便性を充実させること。
- (2) 江東区内各地域から豊洲市場や東京2020大会のレガシーが多い臨海部へのさらなる路線充実を図ること。
- (3) 屋根、ベンチ、バス接近表示装置の設置、新たな停留所の整備など、バス停留所施設の充実を図ること。
- (4) 東京BRTについて、開始時期が未定となっているプレ運行（二次）を早期に実施するとともに、新たに交通結節点としての活用が見込まれる新豊洲駅前への停留所設置を行うこと。